

## 国立大学等に求められる役割

- 教育研究機能の強化、地域・社会・世界への貢献、新たな価値の提供
- 知と人材の集積拠点として、様々なステークホルダーとの連携による創造活動を展開する「共創」の拠点

⇒「第5次国立大学法人等施設整備5か年計画（令和3～7年度）」（令和3年3月）に基づき、キャンパス全体の「イノベーション・コモンズ（共創拠点）」の実現を目指す。

令和5年度の国立大学法人等の施設整備については、「令和5年度国立大学法人等施設整備の方向性」（令和4年5月23日国立大学法人等施設整備に関する検討会決定）に基づき、以下のとおり推進

(1) 安全・安心の確保	(2) 機能強化等への対応	(3) カーボンニュートラルに向けた取組
<ul style="list-style-type: none"><li>◆ 効率的な長寿命化ライフサイクルを実現するための老朽改修</li><li>◆ 古い基幹設備（ライフライン）を中心に計画的に更新</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>◆ 老朽改修等にあわせて実施する、キャンパスのイノベーション・コモンズ化に資する整備</li><li>◆ 事業の継続性を十分踏まえた附属病院施設の整備</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>◆ カーボンニュートラルの実現に向け、社会の先導モデルとなる徹底した省エネルギー対策を図った施設整備</li></ul>

⇒ 令和5年度の施設整備においては、「大学における教育研究の活動である『ソフト』と、その活動の場となる『ハード』を一体として検討しているかどうか」を(2)の評価の観点に追加

# 国立大学のキャンパス整備について

## 国立大学等施設の現状と課題

昭和40年代～50年代に整備した膨大な施設の更新時期が到来し、**安全面、機能面、経営面で大きな課題が発生**

### 安全面

- 老朽化による**事故発生が頻発**



外壁の落下の危険

### 機能面

- **スペース不足、教育研究機能の低下**



過密な研究室 (機能低下と事故)

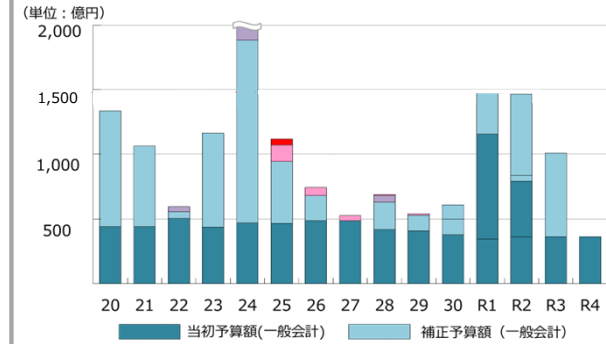
### 経営面

- エネルギーロスや事故・故障対応による**財政負担の増大**



配管の腐食

## 施設整備費補助金の予算額の推移



### 【R3年度予算】

当初： 363億円  
補正： 646億円  
合計： 1,009億円

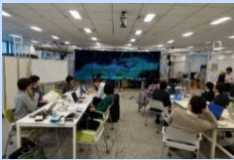
### 【R4年度予算】

当初： 363億円

## 第5次国立大学法人等施設整備5か年計画（令和3～7年度）（令和3年3月 文部科学大臣決定）

### ▶施設整備の方向性 キャンパス全体を **イノベーション・コモンズ（共創拠点）** へ

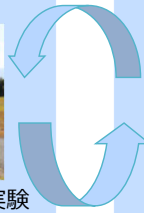
#### 産業界との共創



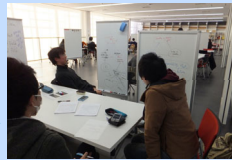
他大学や企業等との  
オープン・ラボ



構内道路を活用した実証実験  
出典： <https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/topics/view/1152>



#### 教育研究の機能強化



学生同士のアクティブ・  
ラーニング



ICTによる  
コミュニケーション



国際寮における  
日常的な国際交流



#### 地方公共団体との共創



地元企業との交流会



地域への公開講座

### 整備内容

**総面積：860万㎡ 所要経費：約1兆500億円**（多様な財源を含む）

【**老朽改善整備**】 約**785万㎡**（大規模 225万㎡ 性能維持 560万㎡）

保有する施設を最大限に有効活用するため

- 従来の改修サイクルを**長寿命化のライフサイクル**へ転換
- 「**戦略的リノベーション**」による**老朽改善で機能向上と長寿命化**を図る

【**ライフライン更新**】 事故の未然防止・災害時の継続性の確保

配管・配線：**約1,900km** 設備機器：**約1,800台**

【**新增築整備**】 新たな教育研究ニーズへの対応 **約30万㎡**

【**附属病院整備**】 先端・地域医療の拠点を計画的に整備 **約45万㎡**

### 実施方針

国立大学等の施設整備は「未来への投資」であり、文部科学省と国立大学法人等が連携し多様な財源を確保しつつ取組を推進

# ソフト・ハード一体となった教育研究環境の共創拠点化

国立大学等のキャンパス・施設は、高度で先端的な知・人材・機器設備が集積しており、**地域において、イノベーション・産業振興のハブ、人材育成の拠点**といった機能を担うとともに、**防災拠点、地域医療の最後の砦、さらにはカーボンニュートラルに向けた脱炭素化の拠点**としても重要な役割を果たしていることから、そのような**ソフト面の取組と、活動の場であるハード面が一体となった共創拠点化を推進**

## 災害時の地域の防災拠点

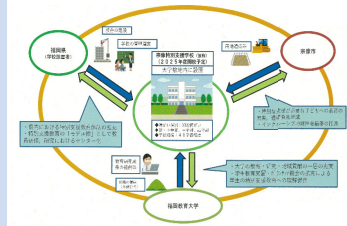
熊本大学 体育館を地域避難所に提供



(発災時) 体育館を地域の避難所として提供  
(復興期) 「熊本復興支援プロジェクト」を開始し創造的復興を支援

## 教育委員会との連携

福岡教育大学 特別支援学校設置への協力



キャンパスの一部を県立特別支援学校の教室不足解消に提供

## 地域の人材育成

奈良女子大学 女子大初の工学部設置



女子大初の工学部設置により理工系女性人材の育成に貢献

滋賀大学 データサイエンス・AIイノベーション研究開発センター



データサイエンスの先端的教育研究拠点として、地域人材育成や地域課題解決に貢献

宇都宮大学 ロボティクス・農場技術研究所



地元企業等とのオープンイノベーションにより多様な分野で社会実装を推進

香川大学 イノベーションデザイン研究所



地域地元企業を巻き込んだオープンイノベーションによるコンソーシアムを形成し、多分野での社会実装を目指す

## 地域医療の最後の拠点

筑波大学 医療教育センターを設置

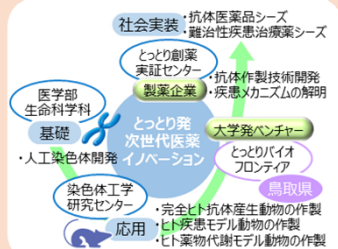


県内全医療圏に医療教育センターを設置し、県全体の医療向上に貢献

# イノベーション・コモنزの実現

## 最先端イノベーション創出

鳥取大学 次世代医薬イノベーション



大手製薬会社等との産学官連携による次世代医薬イノベーションの創出

金沢大学 バイオマス・グリーンイノベーションセンター



交流を促進する空間構成  
参画企業間の連携を促進する産学官連携を推進

## 実証実験

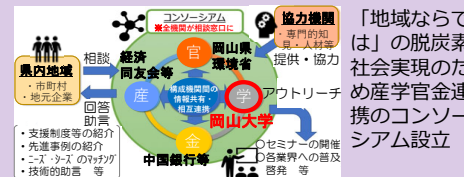
広島大学 「Town&Gown構想」



「Town & Gown構想」実現のため、多様な主体との共創によりキャンパス全体を実証実験場として活用

## カーボンニュートラル

岡山大学 地域脱炭素創生・岡山コンソーシアム



CLTを活用した共育共創コモنزを整備し、カーボンニュートラルに貢献

教育共創コモنز



## 地域産業振興・スタートアップ

山形大学アントレプレナーシップ開発センター



起業家精神の醸成からスタートアップ支援までの一気通貫プログラムを実施

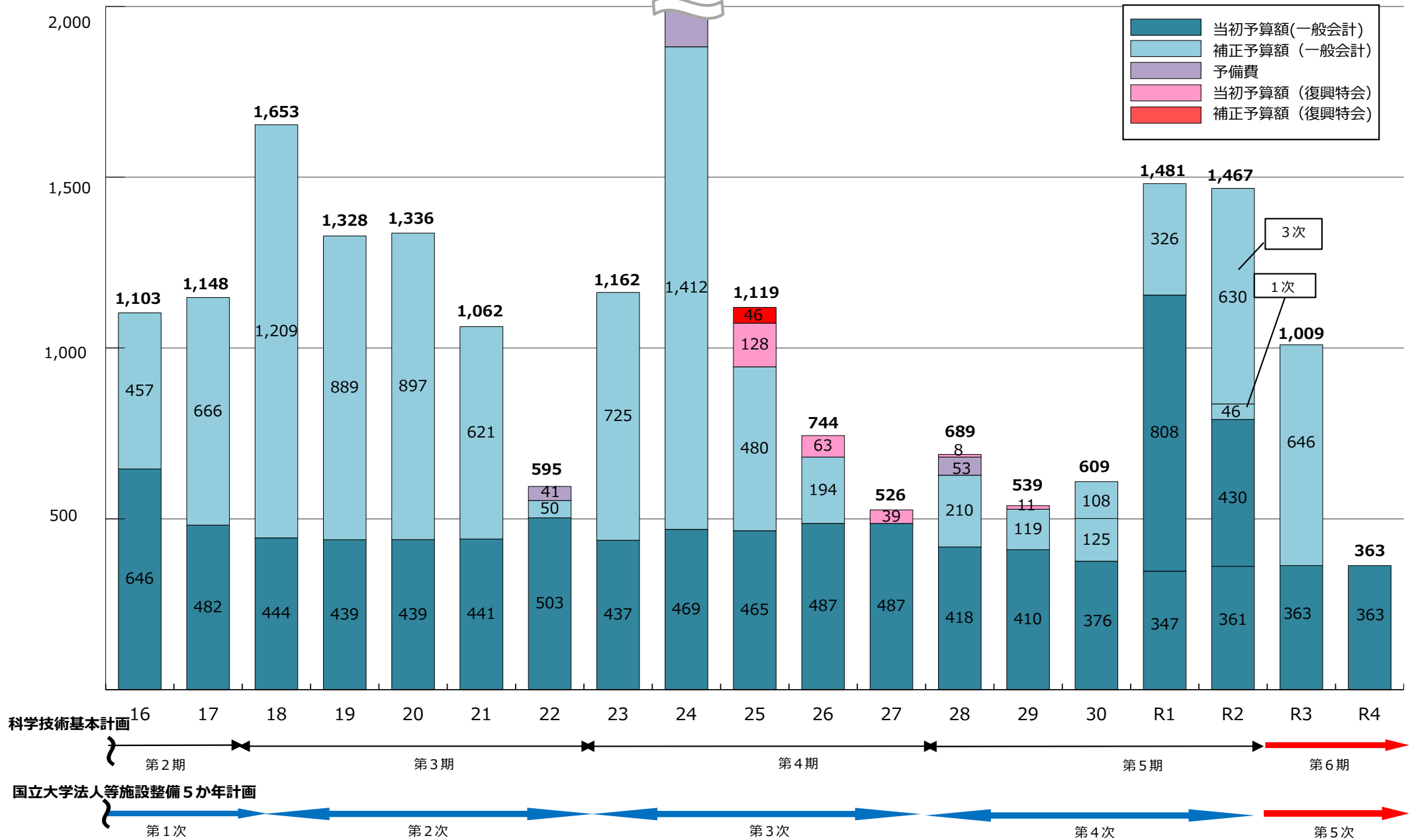
山口大学 志イノベーション道場



学生に起業家・産業人等と接点の機会やネットワークを提供するなど、アイデアを創出する実践・共創の場

# 国立大学法人等施設整備費予算額の推移 (平成16年度～令和4年度当初予算)

(単位：億円)



◇四捨五入により合計は一致しない場合がある。

◇平成30年度補正予算のうち108億円、令和元年度予算のうち808億円、令和2年度予算のうち430億円は防災・減災、国土強靱化関係予算(臨時・特別の措置)